



サフラン便り

第29号 19年10月15日発行

発行:佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/saffron/>

日本女性薬剤師会移動セミナーin 長野 報告

「保健・医療・福祉のかけはしになるう」

- 信州の風にのせてやさしさを在宅へ-

日時:平成19年9月8日(日) 10:00~16:00

会場:軽井沢 プリンスホテル西館

内容:褥瘡治療薬で広がる地域の輪 薬剤師の輪 Part

在宅医療における薬剤師の役割

患者さんのADL改善に向けた薬剤師活動 パソコンを利用して

取り組んでみよう在宅医療(受付した処方せんに責任を感じて・在宅訪問管理指導を13年間続けて・介護事業所施設を開設して・長野県女性薬会員の全員が在宅訪問を試みて)

感想:すべてにおいてアットホームな雰囲気の中でおこなわれ女性薬主催という特徴が良く出ていた。

セミナー等の進行もスムーズで参考とするところも多かった。パネルディスカッション「取り組んでみよう!在宅医療」も身近な形式にとらわれない取り組みの症例で、大変わかりやすく構成されていたため、幅広い層の薬剤師にあった内容となっていた。改善の必要な点に関しても、次回佐賀での開催の参考としていきたい。(勝田)

あこがれの避暑地軽井沢は標高1000mという人間にとっては、胎内と同じ気圧で生活環境としては理想的な土地だそうです。そこであらためて健康長寿を支援する薬剤師の働きを学んだ気がします。

ご案内

第6回 日本女性薬剤師会移動セミナーin 佐賀

「保健・医療・福祉の架け橋になるう」

第1部 緩和ケア(ターミナルケア)

第2部 高齢者への服薬管理・指導

日時:平成20年9月14日(日) 会場:アバンセ

地元の皆様のご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。



第70回九州山口薬学大会(熊本) 女性薬協議会報告 (9月24日)

テーマ:薬剤師会における、男女共同参画を語ろう

基調講演:「男女共同参画という考え方」 熊本県男女共同参画・パートナーシップ推進課 広崎史子氏

佐賀県発表者:田中須磨代 「男女共同参画づくりのための佐賀県における意識調査」

女性薬剤師部会 講演会

「漢方でいきいき美しく~メタボリックシンドロームでも負けない健康づくり~」

講師:藍野病院内科医長 大阪医科大学第一内科漢方外来 吉田麻美先生

第42回九州医学検査学会(佐賀) 女性フォーラム報告 (10月6日)

基調講演:女性の職能団体への参画 広岡守穂前アバンセ館長

女性薬剤師部会発表者:宮地和子「アバンセ調査研究からわかること」

第40回日本薬剤師学術大会(神戸) (10月8日)

生涯学習分科会 口頭発表 北島悦子

「女性薬剤師のさらなるチャレンジにむけて」 女性薬剤師の生涯学習について

ちょっと一言

先日、中学の同窓会を開催した折に、不思議な経験をした。当日、着用予定のスーツが着づらくて困っていたら、ダンスの中に亡き母のワンピースが目にとまってしまった。30年前のものだが当時の母と同じ年頃になった私にぴったりで、何の違和感もなく身にまとえたのだ。同窓会も盛り上がり、懐かしい写真が見つらい友人の為に用意しておいた拡大鏡を取りに行った。その途中のエレベーターの中で老夫婦と若夫婦に乗り合わせ、そのお一人から私の名前を呼ばれた。ポカンとしている私、30年前に家族ぐるみの付き合いがあった兄の友人一家だった。母もワンピースを通じて懐かしんでくれたのではないかと思った。今、親しく薬剤師の活動をしている先生が中学高校部活を共有し青春していた友人の義理の姉さんであったと知った時、一日中ドラマを見ているようだった。(島田)

さが子育て支援フェスタ参加 相談内容報告 9月29、30日 於：諸富体育館ハートフル

- ・どうしても薬が飲めない(8ヶ月、1歳、2歳、3歳)
- ・シロップ剤の時は飲んだが、散剤になって飲まなくなった。(2歳)
- ・風邪で1ヶ月以上ムコダイン、ペリアクチン、アスハリンを服用(1,2歳)
やめるとひどくなる。続服してよいか。
- ・生後2ヶ月から喘息治療。寝る前に吸入をさせている。その時の注意点
- ・お尻におでき。アルメタを塗布して広がった。(2歳)(10ヶ月)
- ・湿疹で漢方を飲ませている2年近く服用。まだ飲ませたほうが良いか。(2.5歳)
- ・虫刺されでステロイド軟膏を購入。痒がっていつも塗布をせがむ(1歳)(2歳)
- ・アンヒバが効かない。突発性の発熱で3日間は仕方ないと言われた。
- ・熱性けいれんがあり、解熱剤とけいれん止めのどちらを先に使用すべきか(1歳)
- ・便秘でラキソベロン液を使用。続けて良いか(3歳)(2歳)(6歳)
- ・アトピー体質でステロイド剤が不安(10歳)
- ・インフルエンザとボルタレンはいけないと聞いたが耳下腺炎の時飲ませた(8歳)
- ・副鼻腔炎で漢方を飲ませているが、うまく飲んでくれない。
- ・ハイハイを始めてタタミで足をすりむいている。その処置法は?(5ヶ月)
- ・授乳中で使える解熱剤は?薬局で使う薬はないと言われきつかった。(1歳児の母親)
- ・オムツかぶれにつかう軟膏は?(10ヶ月)
- ・顔に湿疹。すぐに手をやるので困っている。(1歳)
- ・よく風邪をひくが、抗生剤を出すDr.と出さないDr.がいるが
どう判断したらよいか(「4歳、1歳、0歳の母親」)



平成19年度診療ガイドライン薬剤コース(前期スクーリング講習会アンケート)

日時：平成19年8月26日(日)9:00~15:10 開催

- ・必要最小限の休憩や食事時間でスピーディな講習会が受けられて助かります。(40代)
- ・福岡からの参加です。ホームページを覗いてみようと思います。(とても分かり易かった)(50代)
- ・頭痛の講義が、以前より理解不十分な科目だったので、ためになりました。(20代)
- ・マンネリ化した血圧の患者さんに対する会話にとっても役立ちます。服薬指導に使う資料を自分で作ろうと思いました。(40代)
- ・病理のことが聞けるので、興味深いスライドで実際の臓器が見られるので手術の様子が分かり良かった。
- ・これからも活動頑張ってください。他県ですが、心強いです。また参加したい(30代)

*今回は、イベントが多く報告ばかりになってしまいました。企画アイデアお待ちしております。(宮地)